

平成 29 年 11 月 6 日

各 位

学校法人ノースアジア大学  
学園広報担当

## 第 8 回民俗学シンポジウム

### 自然・社会・民俗の視点から男鹿の暮らしと文化を考える

ノースアジア大学雪国民俗館では、11月11日（土）に民俗学シンポジウムを開催します。今回のシンポジウムは、「男鹿の暮らしと文化 ー自然・社会・民俗の視点からー」がテーマです。シンポジウムでは、4人のパネラーが民俗、自然環境、食生活、地域共同体の分野を考察し地域の方々に報告を行い、自然や社会の変革をもたらす豊かさ、厳しさなどから捉えた男鹿の暮らしと文化を一緒に考えたいと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

#### 【日時等】

- 日 時 平成 29 年 **11 月 11 日** (土) **13:00 ~ 15:20**
  - 場 所 男鹿市役所戸賀出張所 (男鹿市戸賀浜塩谷字大水沢 15-2)
  - タイトル 男鹿の暮らしと文化 ー自然・社会・民俗の視点からー
  - 内 容 パネラー報告、学生報告 (雪国民俗学研究会)、質疑応答  
パネラー 鎌田幸男 (ノースアジア大学経済学部教授、雪国民俗館館長)  
力石國男 (ノースアジア大学総合研究センター教授)  
村中孝司 (ノースアジア大学経済学部准教授)  
楠山大暁 (ノースアジア大学国家試験等センター講師)
- 概 要 昨年につき、男鹿市でのシンポジウム開催です。  
今回は、自然・社会・民俗の 3 つの視点からの報告となっています。  
少子高齢化が進む中での丸木舟、なまはげといった文化財、民俗の保存と継承、社会情勢の変化が小学校を中心とした地域共同体に及ぼす影響など、パネラーが考察した内容をもとに、その地域に住む皆さまと共に考えたいと思います。
- 入 場 料 無料
  - 主 催 ノースアジア大学雪国民俗館

※ 取材を希望する場合は、11月10日（金）まで、下記の学園広報担当にご連絡くださるようお願いいたします。

#### 【シンポジウムへのお問い合わせ先】

ノースアジア大学雪国民俗館 担当: 佐藤、嵯峨  
TEL 018-836-2405  
ホームページ <http://www.nau.ac.jp/yukiguni/>  
FACEBOOK <https://www.facebook.com/yukimin1960>

#### 【広報に関するお問い合わせ先】

学校法人ノースアジア大学(学園広報担当)  
TEL 018-836-6527 FAX 018-836-3321 E-MAIL: [koho@nau.ac.jp](mailto:koho@nau.ac.jp)  
〒010-8515 秋田市下北手桜守沢 46-1

第8回民俗学シンポジウム



# 男鹿の暮らしと文化

— 自然・社会・民俗の視点から —

今回は、自然・社会・民俗の3つの視点からの報告を行います。  
少子高齢化が進む中での丸木舟、なまはげといった文化財、民俗の保存と継承、社会情勢の変化が小学校を中心とした地域共同体に及ぼす影響など、パネラーが考察した内容をもとに、その地域に住む皆さまと共に考えたいと思います。

日 時  
場 所

平成 **29** 年 **11** 月 **11** 日(土) 13:00~15:20  
男鹿市役所戸賀出張所

参加費  
無料

プログラム

1. あいさつ

2. パネラー  
報告内容

○鎌田幸男(ノースアジア大学経済学部 教授・雪国民俗館館長)

「男鹿半島の暮らしと文化を考えるー丸木舟、ナマハゲ、鯨場出稼ぎー」

○力石國男(ノースアジア大学総合研究センター 教授)

「秋田の暮らしと健康」

○村中孝司(ノースアジア大学経済学部 准教授)

「秋田・男鹿の魚介ー食生活と漁業からー」

○楠山大暁(ノースアジア大学国家試験等センター 講師)

「学校再編と地域共同体の変容について ー戸賀小学校の歴史を振り返ってー」

3. 質疑応答

4. 活動報告

雪国民俗学研究会 学生: 武田勇斗、亀谷健悟、皆川文武

司会・進行 山本俊(ノースアジア大学経済学部 准教授・雪国民俗館館長補佐)

主 催  
連 絡 先

ノースアジア大学 雪国民俗館

TEL 018 - 836 - 2405 (担当: 佐藤、嵯峨)

ホームページ

<http://www.nau.ac.jp/yukiguni/>

FACEBOOK

<https://www.facebook.com/yukimin1960>